



木の商品が出来るまで



Start!

1. イラスト



イラストは障がい者の皆さんによって描かれたものです。手で描いたり、パソコンを使って描いたりしています。それぞれの強みを活かし、様々なデザインのハガキを作っています。スタッフ、時には障がい者同士で相談し、切磋琢磨しながらデザインを完成させています。

2. 材料



きれいな木目と豊かな香りが魅力の木の紙は、「能登ヒバ」から生み出されたものです。石川県の県木「能登ヒバ」は、能登地域に植えられる石川県独特の樹種です。昔から建材としてはもちろん、木工品などにも使われてきました。金沢駅のシンボル「鼓門」の木地にも使われています。

石川県産
能登ヒバ使用



3. 制作



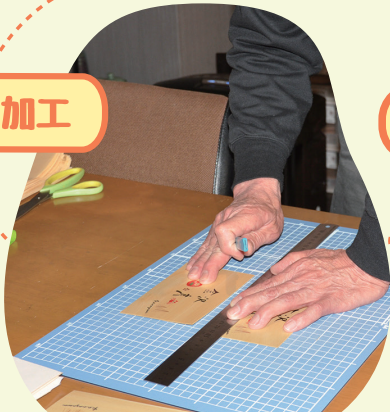
木の紙はそのままではハガキとして使えません。0.2mmと0.3mmの木を貼り合わせ、印刷会社の印刷機で印刷可能なサイズにする工程があります。この行程では、器用であったり、細かい作業が好きという強みを持った障がい者の皆さんが活躍しています。

4. 印刷



印刷会社のご協力のもと、富士ゼロックスの印刷機にて、フルカラーでの印刷が実現。木の用紙の配達も障がい者が行っています。

5. 加工



印刷会社で印刷された木の紙は、再び事業所にて加工されます。ハガキサイズに一枚一枚手作業でカットします。

6. パッキング



袋詰め
して完成!

最後に袋詰めをして完成! パッケージのシール貼りや、パッケージに案内メッセージを入れる工程、店舗様への納品も障がい者が行っています。

Goal!

